



中皮腫治療の 免疫チェックポイント阻害剤でおこる 薬疹へのケア

2026年3月

【著 者】長松 康子

【イラスト】あやぞう

無断転載を禁ずる。

本ガイドは、JSPS科研費 基盤研究(B)21H03241
「石綿で起こり症状緩和が困難な中皮腫に対するパディナースを
用いた包括ケアの実装」の助成を受けて作成しました。

科研費
KAKENHI

中皮腫治療の 免疫チェックポイント阻害剤でおこる 薬疹へのケア



主治医に 相談

たかが湿疹と侮ってはいけません。
自己判断は禁物です。免疫チェックポイント阻害剤
による副反応は急激に悪化することがあります。
ひどくなると中皮腫の治療を中断しなくては
なくなるかもしれません。発疹ができれば
主治医に連絡し、皮膚科専門医を紹介してもらいま
しょう。

こんな時はすぐに連絡を

- ・発疹が急に広がる
- ・水ぶくれができる
- ・皮膚がむける
- ・口、目、陰部がただれる
- ・発熱する

伝えてください

- ・いつから
 - ・どこに
- 写真を撮っておくと役立ちます



皮膚への 刺激を 避ける

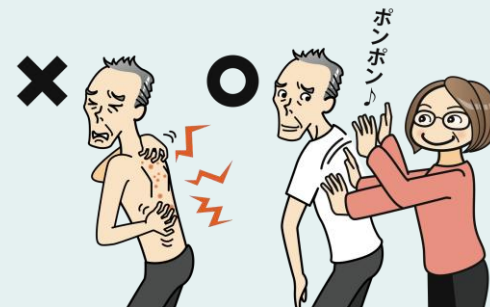
固いタオルや衣服で皮膚を刺激しないようにしましょう。
入浴はぬるめのお湯で短時間で済ませましょう。

石鹸も刺激になりますので、
使う場合は低刺激石鹸を
少なめに。ごしごしこすらず、
手またはやわらかいもので
優しく洗いましょう。
外出時は日焼けしないように
注意しましょう。



どうしても 痒いとき

発疹部を掻きつづさないようにしてください。
痒い時は、掻くのではなく、ポンポンと軽く
たたいてください。



布団に入ったり、体が温まると痒みが増します。保冷剤をあてると痒みが
楽になることがあります。
保冷剤をあてる時は、
皮膚に直接あてず、
柔らかい布で包みましょう。

保湿が 重要

保湿することで皮膚を守り
かゆみを抑えることができます。
普段から、ご自分にあった
保湿剤で皮膚を保護しましょう。
皮膚科の専門医に処方された
保湿剤を使い、あわない場合は、
他の保湿剤を処方して
もらいましょう。

